



## 様々な NETosis 検出法を比較

病態解析学分野 助教 益田紗季子

### 研究成果のポイント

- NETosis 評価の標準法は確立されておらず、様々な評価法が存在する。本研究では、特異性・客観性・定量性に焦点を当て、各種 NETosis 評価法を比較した。

### 研究成果の概要

好中球細胞外トラップ (NETs) は好中球自身の DNA と抗菌タンパクで構成された網状構造物で、細菌を絡め取り殺菌を行う重要な感染防御機構である。これは apoptosis や necrosis とは異なる細胞死であり、NETosis と呼ばれている。現在、様々な方法で NETosis の評価が行われており、研究者間で統一されていない。本研究では、これまで報告されている NETosis 評価法を特異性・客観性・定量性に焦点を当て比較した。それぞれの評価法は長所短所があり、研究目的や実験条件に応じた最も適した評価法を選択する必要がある。

### 論文発表の概要

研究論文名：英語タイトル (日本語訳)

NETosis markers: Quest for specific, objective, and quantitative markers

NETosis マーカー：特異的・客観的・定量的マーカーの探求

著者：氏名 (所属)

Sakiko Masuda<sup>a</sup>, Daigo Nakazawa<sup>b</sup>, Haruki Shida<sup>b</sup>, Arina Miyoshi<sup>b</sup>, Yoshihiro Kusunoki<sup>b</sup>, Utano Tomaru<sup>c</sup>, Akihiro Ishizu<sup>a</sup>. <sup>a</sup> Faculty of Health Sciences, Hokkaido Univ, <sup>b</sup> Division of Rheumatology, Endocrinology and Nephrology, Hokkaido Univ, <sup>c</sup> Department of Pathology, Hokkaido Univ.

公表雑誌：Clinica Chimica Acta

公表日：2016. 5. 31

### お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院保健科学研究院・助教・益田紗季子 (ますださきこ)  
TEL: 011-706-3405 E-mail: sakikomasuda@hs.hokudai.ac.jp